

I 共通科目

研究倫理	1
保健医療学研究法	3
医療科学特論	5
保健医療システム特論	7
医療組織経済学特論	10
保健医療と教育論	14

授業科目	研究倫理	科目英語表記	Research ethics		
職名、担当教員氏名	非常勤講師 浅井 篤				
科目責任者氏名	浅井 篤				
学内連絡教員氏名					
分野	看護学分野／理学療法学分野／作業療法学分野	学年	博士前期1年		
科目区分	共通	必修・選択の別	必修		
授業形態	講義／演習	開講時期	前期	単位数	1単位
授業概要	保健医療分野の研究活動を遂行するうえで、知っておくべき研究倫理について教授し、高度専門職業人としての責任ある態度と高い倫理性を涵養する。				
到達目標	1.研究倫理の意義を説明できる。 2.研究における不正行為や問題となる利益相反を具体的に説明できる。 3.保健医療分野の研究倫理における特徴を理解し、自己の研究に反映することができる。				
成績評価方法	・レポート（50％）：「自己の研究について、起こりうる倫理的課題とそれに対する方策」 起こりうる具体的な課題が列挙できているか、その課題に対する具体策を説明できているかで評価 ・授業内でのショート・プレゼンテーション（20％）：1～6回目（学習内容の理解度、見解の論理性） ・意見交換への参加積極性（30％）：7～8回目の演習において、自分の意見を述べているか、他者の意見を踏まえて発展的に思考できているかを評価				
成績評価基準	研究倫理および研究者の倫理の歴史、原則、意義、各論的な課題および対応策を説明できる。 特に優れている； 適切で十分な根拠をふまえて論理的に説明できる 優れている； 根拠をふまえて論理的に説明できる 良好である； 根拠を用いてある程度論理的に説明できる 最低限の到達； 根拠は乏しいがある程度論理的に説明できる 目標に到達していない； 説明できない				
授業形式	ZOOMによる遠隔授業				

授業計画					
回	授業項目	学習内容	学習方法	授業外学習	授業ごとの担当教員
1	研究倫理の意義	研究倫理の意義、科学的合理性、ガイドライン、法	ZOOMによる遠隔授業	事前学習と復習	浅井
2	研究における不正行為	ねつ造、改ざん、盗用の実際と対策、誠実な研究実施	ZOOMによる遠隔授業	事前学習と復習	浅井
3	研究における利益相反	研究助成の申請と審査、研究経費、研究組織	ZOOMによる遠隔授業	事前学習と復習	浅井
4	保健医療分野の研究倫理の特徴	介入、侵襲、被験者保護、観察研究、同意取得、患者・市民参画など	ZOOMによる遠隔授業	事前学習と復習	浅井
5	保健医療分野の研究倫理の特徴	介入、侵襲、被験者保護、観察研究、同意取得、患者・市民参画など	ZOOMによる遠隔授業	事前学習と復習	浅井
6	保健医療分野の研究倫理の特徴	介入、侵襲、被験者保護、観察研究、同意取得、患者・市民参画など	ZOOMによる遠隔授業	事前学習と復習	浅井
7	演習：研究プロトコルの倫理的観点からの検討	自己の研究計画やデータ管理に関する具体的課題について討議	ZOOMによる遠隔授業	レポート	浅井
8	演習：研究不正予防の観点からのプロトコル精査	自己の研究計画やデータ管理に関する具体的課題について討議	ZOOMによる遠隔授業	レポート	浅井
日付					
6.4.13（土）2-5					
6.4.20（土）1-4					

教科書	指定教科書はない。使用する資料は授業時および事前に配布する。
参考書	日本学術振興会『科学の健全な発展のために』、丸善出版、2015年、 黒木登志夫『研究不正 科学者の捏造、改ざん、盗用』、中公新書、2016年、 神里彩子、武藤香織編『医学・生命科学の研究倫理ハンドブック』、東京大学出版会、2015、 滋賀医科大学医学部附属病院臨床研究開発センター企画、田代志門監修、『研究倫理教材DVD』（2015年4月）、株式会社桜映画社制作 笹栗俊之・武藤香織編『シリーズ生命倫理学 医学研究』、丸善出版、平成24年、東京、Murphy, TF, Case studies in biomedical research ethics, MIT press, Cambridge, 2004. Gregory Pence Medical Ethics 8th edition, McGraw Hill, New York., 2017.
ディプロマ・ポリシーとの関連	博士前期1／博士前期2／博士前期3
実務経験のある教員	
実務経験をいかした教育内容	
教員の連絡先	浅井 篤：aasai@med.tohoku.ac.jp, okita@med.tohoku.ac.jp 東北大学大学院医学系研究科医療倫理学分野 電話022-717-8197、ファックス022-717-8198
備考	

授業科目	保健医療学研究法	科目英語表記	Research method of health sciences		
職名、担当教員氏名	教授 蓬田 伸一 教授 藤井 浩美 准教授 鈴木 育子				
科目責任者氏名	蓬田 伸一				
学内連絡教員氏名					
分野	看護学分野／理学療法学分野／作業療法学分野	学年	博士前期1年		
科目区分	共通	必修・選択の別	選択		
授業形態	講義	開講時期	前期	単位数	2単位
授業概要	特別研究を実施するための基礎となる研究方法論を教授する。また、修士論文の作成や研究発表に関する基礎的知識も教授する。 (蓬田伸一) 保健医療学の基礎となる考え方や、論文を書くために必要となる基本的知識を教授する。 (鈴木育子) 調査研究の基礎、および質的研究手法と質的・量的アプローチをつなぐ混合研究法について教授する。 (藤井浩美) 実験による研究手法の概説とそれに必要な統計学的手法およびプレゼンテーション技法について教授する。				
到達目標	1. 研究とは何か、どのように研究を進めるかを理解できる。 2. 看護学、理学療法学および作業療法学の研究の基礎となる自然科学および統計学の基礎知識（考え方）を理解できる。 3. 英語の論文を抵抗なく読めることができる。わかりやすい研究発表を行えるようになる。 4. 論文執筆をスムーズに進めるためのポイントについて説明できる。 5. 調査研究の基礎および質的研究方法の特徴を研究手法の比較により説明できる。 6. 質的・量的研究をつなぐ混合研究法の特徴を説明できる。 7. それぞれの研究手法の利点と限界を知り、自分の研究目的に適した研究方法を検討することができる。				
成績評価方法	講義内容についてのディスカッション等への参加度（60%）、質疑応答（40%）の合計により、総合的に評価する。				
成績評価基準	特に優れている； 自らの研究について適切な根拠を踏まえて方法を選択し、研究計画を考えることができる。 優れている； 自らの研究について適切な方法を選択し、研究計画を考えることができる。 良好である； 自らの研究の研究方法を考えることができる。 最低限の到達； 自らの研究の研究方法の方向性を考えられる。 目標に達していない； 自らの研究の研究方法の方向性を考えられない。				
授業形式	対面授業を基本とするが、状況により遠隔授業（録画形式または配信形式）で実施する。				

授業計画					
回	授業項目	学習内容	学習方法	授業外学習	授業ごとの担当教員
1	研究の基礎	研究を始めるに当たり、知っておかなければならないこと	講義と討議	配布した資料について学修する。	蓬田
2	保健医療学研究の基礎	研究計画の立案法①	講義と討議	配布した資料について学修する。	蓬田
3	保健医療学研究の基礎	研究計画の立案法②	講義と討議	配布した資料について学修する。	蓬田
4	保健医療学研究の基礎	研究のデザインを学ぶ。	講義と討議	配布した資料について学修する。	蓬田
5	保健医療学研究の基礎	「研究の質」について学ぶ。	講義と討議	配布した資料について学修する。	蓬田
6	調査研究	調査研究の概要	講義	研究論文を読む。	鈴木
7	質的研究	質的研究の概要	講義	研究論文を読む。	鈴木
8	混合研究法論文の書き方	混合研究法の概要、論文執筆の基礎	講義	研究論文を読む。	鈴木
9	トランスレーショナルリサーチ①	様々な研究の構造	講義	研究論文を読む。	スポット講師
10	トランスレーショナルリサーチ②	様々な研究の構造	講義	研究論文を読む。	スポット講師
11	研究のすすめ	これまでの研究を通し、作業仮説の立て方を学修する。	講義と討議	配布した資料について学修する。	藤井

12	研究結果の評価と統計Ⅰ	尺度水準、ノンパラメトリックとパラメトリック、信頼性と妥当性を理解する。	講義と討議	配布した資料について学修する。	藤井
13	研究結果の評価と統計Ⅱ	統計的仮説検定および統計的推定に慣れる。	講義と討議	配布した資料について学修する。	藤井
14	プレゼンテーション技法	プレゼンテーション技法を身につける。	講義と討議	配布した資料について学修する。	藤井
15	どのような論文を書くか	どのような文を書くかを身につける。	講義と討議	配布した資料について学修する。	藤井
日付					
毎週水曜日 6限目					

教科書	渡部欣忍 著「あなたのプレゼン誰も聞いてませんよ！」(南江堂) 市原清志 著「バイオサイエンスの統計学」(南江堂) J.W.クレスウェル&V.L.プラノクラーク著「人間科学のための混合研究法」(北大路書房)2010 D.F.ポーリット&C.T.ベック 著, 近藤潤子 監訳「看護研究 原理と方法」第2版(医学書院)2010 米国心理学会 (APA) APA論文作成マニュアル第2版, (医学書院)2011
参考書	
ディプロマ・ポリシーとの関連	博士前期1 / 博士前期2 / 博士前期3
実務経験のある教員	
実務経験をいかした教育内容	
教員の連絡先	蓬田伸一：研究室16 syomogida@yachts.ac.jp 鈴木育子：研究室 8 isuzuki@yachts.ac.jp 藤井浩美：研究室27 hfujii@yachts.ac.jp
備考	9, 10回目は、看護学研究法特論(東京大学大学院医学系研究科 老年看護学/創傷看護学分野 教授 仲上豪二朗 先生のZoomによる講義予定)と合同とする。

授業科目	医療科学特論		科目英語表記	Advanced medical sciences		
職名、担当教員氏名	教授 蓬田 伸一 教授 村 成幸 教授 菊池 昭夫 教授 石川 仁					
科目責任者氏名	蓬田 伸一					
学内連絡教員氏名						
分野	看護学分野／理学療法学分野／作業療法学分野	学年	博士前期1年			
科目区分	共通	必修・選択の別	選択			
授業形態	講義	開講時期	前期	単位数	2単位	
授業概要	① 運動器疾患，神経疾患の病態（病因），発症機序，病気の進展過程，臨床像との関連，転帰，対応や治療戦略などについて，最新の知見やトピックスを学ぶ。 ② 薬理学からみた各種疾患や病態や治療に関連した最新の知見やトピックスを学ぶ。 ③ 予防医学の視点から医療科学に必要なエビデンスの考え方を学ぶ。					
到達目標	① 各種疾患の病態像や薬理作用について説明することができる。 ② 予防医学に必要なエビデンスの考え方，作り方，使い方について説明することができる。					
成績評価方法	課題レポート：100% [到達目標 ①，②を評価] 蓬田（25%），村（25%），菊池（25%），石川（25%）					
成績評価基準	到達目標 ①，② 特に優れている：課題内容の理解，論理構成，表現，国内外雑誌の引用が十分整ったレポートを作成することができる。 優れている：課題内容の理解，論理構成，表現，国内外雑誌の引用が概ね整ったレポートを作成することができる。 良好である：課題内容の理解，論理構成，表現，国内外雑誌の引用がある程度整ったレポートを作成することができる。 最低限の到達：課題内容の理解，論理構成，表現，国内外雑誌の引用が一部不十分だが，レポートを作成することができる。 目標に到達していない：レポートの作成ができない。					
授業形式	授業は遠隔で行います。					

授業計画					
回	授業項目	学習内容	学習方法	授業外学習	授業ごとの担当教員
1	薬理学からみた各種疾患の病態と治療①	・薬理学からみた病態と治療に関する講義を行う。	講義（聴講型）	復習課題 授業の内容を振り返り，指摘された事項や理解が不十分だったところについて調べる。	蓬田 伸一
2	薬理学からみた各種疾患の病態と治療②	・薬理学からみた病態と治療に関する講義を行う。 ・関連する文献抄読発表とその論文の内容について議論する。	プレゼンテーション 講義（議論型）	復習課題 授業の内容を振り返り，指摘された事項や理解が不十分だったところについて調べる。	蓬田 伸一
3	薬理学からみた各種疾患の病態と治療③	・薬理学からみた病態と治療に関する講義を行う。 ・関連する文献抄読発表とその論文の内容について議論する。	プレゼンテーション 講義（議論型）	復習課題 授業の内容を振り返り，指摘された事項や理解が不十分だったところについて調べる。	蓬田 伸一
4	薬理学からみた各種疾患の病態と治療④	・薬理学からみた病態と治療のまとめ。	プレゼンテーション 講義（議論型）	復習課題 授業の内容を整理しレポートを作成し提出する。	蓬田 伸一
5	運動器疾患の病態と治療①	・肩関節疾患の病態と治療に関する講義を行う。	講義（議論型）	復習課題 授業の内容を振り返り，指摘された事項や理解が不十分だったところについて調べる。	村 成幸
6	運動器疾患の病態と治療②	・関連する文献抄読発表とその論文の内容について議論する。	プレゼンテーション 講義（議論型）	復習課題 授業の内容を振り返り，指摘された事項や理解が不十分だったところについて調べる。	村 成幸
7	運動器疾患の病態と治療③	・関連する文献抄読発表とその論文の内容について議論する	プレゼンテーション 講義（議論型）	復習課題 授業の内容を振り返り，指摘	村 成幸

		る。		された事項や理解が不十分だったところについて調べる。	
8	運動器疾患の病態と治療④	・運動器疾患の病態と治療のまとめ	講義（議論型）	復習課題 授業の内容を整理しレポートを作成し提出する。	村 成幸
9	神経疾患の病態と治療①	・パーキンソン病の病態と治療に関する講義を行う。	講義（議論型）	復習課題 授業の内容を振り返り、指摘された事項や理解が不十分だったところについて調べる。	菊池 昭夫
10	神経疾患の病態と治療②	・関連する文献抄読発表とその論文の内容について議論する。	プレゼンテーション 講義（議論型）	復習課題 授業の内容を振り返り、指摘された事項や理解が不十分だったところについて調べる。	菊池 昭夫
11	神経疾患の病態と治療③	・関連する文献抄読発表とその論文の内容について議論する。	プレゼンテーション 講義（議論型）	復習課題 授業の内容を振り返り、指摘された事項や理解が不十分だったところについて調べる。	菊池 昭夫
12	神経疾患の病態と治療④	・神経疾患の病態と治療のまとめ	講義（議論型）	復習課題 授業の内容を整理しレポートを作成し提出する。	菊池 昭夫
13	予防医学からみた医療エビデンス①	・予防医学からみた医療エビデンスに関する講義を行う。	講義（議論型）	復習課題 授業の内容を振り返り、指摘された事項や理解が不十分だったところについて調べる。	石川 仁
14	予防医学からみた医療エビデンス②	・関連する文献抄読発表とその論文の内容について議論する。	プレゼンテーション 講義（議論型）	復習課題 授業の内容を振り返り、指摘された事項や理解が不十分だったところについて調べる。	石川 仁
15	予防医学からみた医療エビデンス③	・予防医学からみた医療エビデンスのまとめ。	講義（議論型）	復習課題 授業の内容を整理しレポートを作成し提出する。	石川 仁

日付

後日連絡

教科書	なし
参考書	授業に必要な資料は、適宜、配布、または指示する。
ディプロマ・ポリシーとの関連	博士前期1 / 博士前期2 / 博士前期3
実務経験のある教員	
実務経験をいかした教育内容	
教員の連絡先	蓬田 伸一：研究室16 syomogida@yachts.ac.jp 村 成幸：研究室35 nmura@yachts.ac.jp 菊池 昭夫：研究室38 akikuchi@yachts.ac.jp 石川 仁：研究室24 hishikawa@yachts.ac.jp
備考	講義日程は、受講者の状況（一般・社会人）によって変更可能ですので、各担当教員と事前にご相談ください。

授業科目	保健医療システム特論	科目英語表記	Advanced health sciences system		
職名、担当教員氏名	非常勤講師 関田 康慶				
科目責任者氏名	関田 康慶				
学内連絡教員氏名					
分野	看護学分野／理学療法学分野／作業療法学分野	学年	博士前期1年		
科目区分	共通	必修・選択の別	選択		
授業形態	講義／演習	開講時期	前期	単位数	2単位
授業概要	保健・医療・介護の一翼を担うコメディカル分野に必要な保健・医療・介護システムを様々な視点から理解するシステムズアプローチを教授する。具体的には、システムズアプローチの内容、保健・医療・介護の機能ユニット分析、機能ユニットの連携統合、病院機能評価、医療の質・安全評価と情報システム、グループ診療、病院統合、地域医療構想、地域保健介護福祉連携システム設計、地域包括ケアのシステム化とコミュニティの構築等				
到達目標	保健・医療・介護システムの理解、保健・医療・介護を機能ユニットの統合システムとして把握できる。保健・医療・介護機能分化と連携・統合の効果や効率について理解できる。保健・医療・介護サービスの効果や効率の評価方法、地域医療構想、地域医療計画等について理解し応用できる。医療安全・質評価や情報システムについて理解し説明できる。				
成績評価方法	成績評価方針：論理的思考や説明力を評価する。 評価方法：積極的な講義参加とレポート。講義評価は積極的な議論参加と参加者の準備状況で評価。レポート評価は理解力、説明力、整合性を評価する。 講義の具体的課題について学生との双方向及び学生間相互による討論内容を踏まえて評価する。 講義参加評価65%、レポート評価35%				
成績評価基準	評価基準：論理展開、知識レベル 特に優れている (A)；保健医療介護システムについて適切で十分な根拠をふまえて論理的に説明できる 優れている (B)； 保健医療介護システムについて根拠をふまえて論理的に説明できる 良好である (C)； 保健医療介護システムについて根拠を用いてある程度論理的に説明できる 最低限の到達 (D)； 保健医療介護システムについて根拠は乏しいがある程度論理的に説明できる 目標に到達していない (F)；保健医療介護システムについて説明できない				
授業形式	対面双方向講義				

授業計画					
回	授業項目	学習内容	学習方法	授業外学習	授業ごとの担当教員
1	システム概念とシステムズアプローチ～保健・医療・介護システムの視点から検討・考察	システム理論の基礎として、システム概念、システムズアプローチ、システムの制御方法を解説し、保健・医療・介護にどのように適用可能かについて課題を発見しつつ教授する。	文献等を参考にしつつ双方向講義で議論を深める。学生間の議論も試みる。思考・企画する能力向上を重視する。	保健・医療・介護領域の現在・将来の課題について整理しておく。	関田
2	フィードバックコントロールとフィードフォワードコントロールの保健・医療・介護システムへの適用、階層システムとネットワークシステム	フィードバックコントロールとフィードフォワードコントロールのシステム制御が、保健・医療・介護領域でどのように活用されているか教授する。 また保健・医療・介護領域での階層システムについて理解を深める。	双方向講義で議論を深める。学生間の議論も試みる。思考・企画する能力向上を重視する。	フィードバックコントロールについて調べ、保健・医療・介護の視点から考えておく。	関田
3	保健・医療・介護領域で活用可能な様々な概念・システム	確率、ファジネス、ホロン。ホロニックシステム、フラクタル・複雑性システム、還元主義とホーリズム、演繹的アプローチと帰納的アプローチ、オープンシステムとクローズドシステム、アナログシ	双方向講義で議論を深める。学生間の議論も試みる。思考・企画する能力向上を重視する。	オープンシステムとクローズドシステムについて調べ医療との関係を考えておく。	関田

		システムとデジタルシステムについて解説し、保健・医療・介護領域での活用を教授し議論する。			
4	保健・医療・介護システムの現状分析	医療法と医療機関の種類・機能・システム要素 保健・医療・介護が地域保健法、医療介護保険制度、医療法、老人福祉法等の枠組でどのようにシステム化され、機能分化し統合マネジメントされているかについて解説し、課題について議論する。	文献等を参考にしてつ双向講義で議論を深める。学生間の議論も試みる。思考・企画する能力向上を重視する。	医療法について調べておく。	関田
5	保健・医療・介護サービスのシステム特性比較	保健・医療・介護サービスのシステム特性を比較・検討し考察する。	文献等を参考にしてつ双向講義で議論を深める。学生間の議論も試みる。思考・企画する能力向上を重視する。	保健医療介護サービスと一般のサービスの違いについて考えておく。	関田
6	医療保険制度とDPC/PDPS	医療保険制度と診療報酬システムについて教授する。特にDPC/PDPSについて理解を深める。	文献等を参考にしてつ双向講義で議論を深める。学生間の議論も試みる。思考・企画する能力向上を重視する。	医療保険制度について調べておく。	関田
7	医療機能分化と病床占有率のコントロール	医療機能分化や医療機能ユニットについて教授する。また病床占有率のコントロールについて解説する。	文献等を参考にしてつ双向講義で議論を深める。学生間の議論も試みる。思考・企画する能力向上を重視する。	医療機能分化について調べておく。	関田
8	医療機能分化のエントロピー測定 (MDC, 診療科)	エントロピーについて解説し、エントロピーを用いた医療機能分化程度の測定方法を教授する。	文献等を参考にしてつ双向講義で議論を深める。学生間の議論も試みる。思考・企画する能力向上を重視する。	エントロピーについて調べておく。	関田
9	医療の質と安全管理	医療の質評価や医療の安全管理方法、医療安全分析方法、医療事故調査制度について解説し教授する。	文献等を参考にしてつ双向講義で議論を深める。学生間の議論も試みる。思考・企画する能力向上を重視する。	医療事故調査制度について調べておく。	関田
10	医療安全機能のモニタリング評価方法と情報システム	医療安全モニタリング評価方法と情報システムについて解説・教授する。	文献等を参考にしてつ双向講義で議論を深める。学生間の議論も試みる。思考・企画する能力向上を重視する。	医療安全について調べておく。	関田
11	医療機能評価方法と医療機能評価機構の機能評価アプローチ	医療機能評価方法と医療機能評価機構の機能評価アプローチについて教授する。課題についても検討・考察する。	文献等を参考にしてつ双向講義で議論を深める。学生間の議論も試みる。思考・企画する能力向上を重視する。	医療機能評価について調べておく。	関田
12	地域医療構想、地域医療計画と地域連携システム、グループ診療と病院再編統合	地域医療構想の内容と今後の展開、地域医療計画の変遷と今後、地域連携システムの構築方法・課題、病院再編・統合について解説・教授し議論する。	文献等を参考にしてつ双向講義で議論を深める。学生間の議論も試みる。思考・企画する能力向上を重視する。	地域医療構想について調べておく。	関田
13	介護保険制度と地域包括ケア	介護保険制度と地域包括ケアについて解説・教授し議論を深める。	文献等を参考にしてつ双向講義で議論を深める。学生間の議論も試みる。思考・企画する能力向上を重視する。	地域包括ケアについて調べておく。	関田
14	ケアマネジメントと地域包括支援センターの機能と地域連携会議	ケアマネジメントの構造分析と地域包括支援センターの機能、地域連携会議について解説・教授する。	文献等を参考にしてつ双向講義で議論を深める。学生間の議論も試みる。思考・企画する能力向上を重視する。	ケアマネジメントについて調べておく。	関田
15	大規模災害時の保健・医療・介護システム・情報システム	東日本大震災を参考に、大規模災害時の保健・医療・介護システム・情報システムの被害の種類程度や対策について理解を深める。	文献等を参考にしてつ双向講義で議論を深める。学生間の議論も試みる。思考・企画する能力向上を重視する。	大規模災害時の保健医療介護体制を考えておく。	関田
日付					

6.7.27 (土) 1-5
6.8.17 (土) 1-5
6.8.24 (土) 1-5

教科書	関田康慶編著「医療安全モニタリングの新しい視覚化アプローチ～医療安全ピラミッドモデル・理論によるグラフ分析」、メディカ出版 2021年7月
参考書	山本玲子編「衛生・公衆衛生学」、アイ・ケイコーポレーション、2023年3月
ディプロマ・ ポリシーとの 関連	博士前期1 / 博士前期2 / 博士前期3
実務経験のある 教員	
実務経験をい かした教育内 容	
教員の連絡先	関田 康慶 : yasuyoshi.sekita.d2@tohoku.ac.jp
備考	

授業科目	医療組織経済学特論	科目英語表記	Advanced economics of healthcare organization		
職名、担当教員氏名	非常勤講師 関田 康慶 非常勤講師 加藤 智章				
科目責任者氏名	関田 康慶				
学内連絡教員氏名					
分野	看護学分野／理学療法学分野／作業療法学分野	学年	博士前期1年		
科目区分	共通	必修・選択の別	選択		
授業形態	講義／演習	開講時期	前期	単位数	2単位
授業概要	<p>保健医療活動における経済学・経営学的視座を医療組織分析と経済・経営評価におき、広く保健医療サービスについて探求する。</p> <p><オムニバス方式> 関田 保健医療の一翼を担うコメディカル分野に必要な保健医療介護制度、保健医療介護機能の分析、保健医療組織マネジメント・特性分析、保健医療経済・経営分析、医療介護経営組織管理方法論について教授する。</p> <p>加藤 保健医療サービスをめぐる財源構成、当事者関係および医療提供体制の在り方を国際比較を補助線としてを中心に考察する。加えて、地域共生社会・地域包括ケアサービスをめぐる地域特性について検討する。</p>				
到達目標	<p>関田 保健医療介護の組織構造や機能を経済・経営資源、機能ユニットの視点から理解できる。 保健医療介護サービスの効果や効率の評価方法について理解し応用・活用できる。 医療安全や医療の質評価について理解し説明できる。医療介護組織のマネジメントや分析方法を理解し説明できる。</p> <p>加藤 以下の2点を到達目標とします。 ①医療従事者として、保健医療サービス体系における該当サービスや職種の特性を把握し、保健医療活動全体における自分の立ち位置を理解し、説明できる。 ②具体的な保健医療サービスに関係する当事者の存在を、様々な情報ツールを用いて、紹介できる。</p>				
成績評価方法	<p>関田 成績評価方針：論理的思考や説明力を評価する。 評価方法：積極的な講義参加とレポート。具体的課題について学生との双方向及び学生間相互による討論内容を踏まえて評価する。 レポート評価は理解力、説明力、論理性を評価する。 評価基準：論理展開、知識レベルで評価。講義参加評価65%、レポート35%で評価。</p> <p>加藤 成績評価方針：問題意識・論理的思考力・説明力を評価する。 評価方法：到達目標に関連する質問に対する回答力・・・到達目標①について、各授業5点満点で採点する授業における参加の度合（発言力、疑問力、批判力）・・・到達目標②について、各授業5点満点で採点するレポートによる問題の理解力・説得力・説明力・・・到達目標①②について30点満点で採点する100点満点を1/2して、関田教授の評価と合算する。 評価基準について：社会科学に正解はない、という方針の下、自分の頭で考えることを高く評価する。 基本的な枠組を説明できることが成績評価の基準となる。 レポートの評価基準は、制度構造をどこまで簡易平明な文章で説明できるかを重視する。</p>				
成績評価基準	<p>特に優れている(A)；明確な問題意識のもと、適切で十分な根拠を踏まえて論理的に説明できる 優れている(B)；根拠をふまえて論理的に説明できる 良好である(C)；根拠を用いてある程度論理的に説明できる 最低限の到達(D)；根拠は乏しいがある程度論理的に説明できる 目標に到達せず(F)；独自の見解に依拠し、その根拠を説明できない</p>				
授業形式	対面双方向講義形式				

授業計画					
回	授業項目	学習内容	学習方法	授業外学習	授業ごとの担当教員
1	社会保障機能と市場経済に制約運営される医療組織経済	経済とは何かについて教授・考察し、医療組織経済が社会保障の機能による制約と市場	文献等を参考にしつつ双方向講義で議論を深める。学生間	医療と一般サービスとの価格付けの差異について考えておく。	関田

		経済により運営されている実態を多面的に分析し理解する。医業収益は公定価格、医業費用は市場価格での経済	の議論も試みる。思考・企画する能力向上を重視する。		
2	医療保険制度と保険診療による組織経済	医療保険制度の枠組みと診療報酬評価の仕組みについて。基本診療料、特掲診療料、評価療養と選定療養、混合診療、支払基金と国保連合会、療養担当規則、レセプト審査、返戻、診療報酬体系具体的内容を考察する。DRG/PPS、DPC/PDPSの構造と機能	文献等を参考にしつつ双方向講義で議論を深める。学生間の議論も試みる。思考・企画する能力向上を重視する。	医療保険診療について調べておく。	関田
3	病院機能・組織の形態と組織管理	病院組織と運営管理の構造・機能・実体、財務・経営管理組織構造と実態、医療の組織管理・管理規定、財務・経営管理、人事・労務管理、医療管理、医薬分業	文献等を参考にしつつ双方向講義で議論を深める。学生間の議論も試みる。思考・企画する能力向上を重視する。	病院組織の運営管理について調べておく。	関田
4	医療の質と安全管理	医療の質評価方法、医療の質評価指標、EBM、医療安全管理指標、ドナベディアンの評価方法、インシデントレポート構造と分析、医療安全ピラミッド、ヒューマンエラー要因と対策、医療インシデント分析方法、病院機能評価、医療事故調査制度	文献等を参考にしつつ双方向講義で議論を深める。学生間の議論も試みる。思考・企画する能力向上を重視する。	医療安全について調べておく。	関田
5	医療経済分析	医療介護の質とサービス評価関連分析、医療経済効率、医療評価指標、機能分化による損益分岐点効果、血圧評価のカットオフポイント評価、医薬費用、費用分析、収益と収入の違い、費用効果分析、費用効用分析、タイムトレードオフ、QALY、費用便益分析、t-PA適用の脳梗塞治療効果、深部静脈血栓症の経済分析、認知症のABC予防経済戦略	文献等を参考にしつつ双方向講義で議論を深める。学生間の議論も試みる。思考・企画する能力向上を重視する。	医療経済効率について調べておく。	関田
6	患者の受療行動と在宅医療・介護分析	患者の受療行動分析、診療圏経済分析、訪問看護・介護ステーションの配置と収支分析	文献等を参考にしつつ双方向講義で議論を深める。学生間の議論も試みる。思考・企画する能力向上を重視する。	訪問看護の運営について調べておく。	関田
7	病院・在宅医療の経営戦略	医療の経営理念、病院を取り巻く環境変化、地域医療構想、地域包括ケア、地域医療計画、経営戦略手法、医療マーケティング、病院経営指標、医療のSWOT分析、医療BSC分析、訪問看護・介護ステーションの配置計画分析、病院機能分化による損益分岐点分析	文献等を参考にしつつ双方向講義で議論を深める。学生間の議論も試みる。思考・企画する能力向上を重視する。	病院を取り巻く環境変化について調べておく。	関田
8	医療経営分析	医療経営分析内容、医療経営分析指標、医療収益構造と費用、損益分岐点、財務諸表分析、損益計算書分析、貸借対照表分析、平均在院日数と退院患者数・医療業務量との関係分析、地域連携による病床利用率・稼働率への影響分析	文献等を参考にしつつ双方向講義で議論を深める。学生間の議論も試みる。思考・企画する能力向上を重視する。	損益分岐点について調べておく。	関田
9	1.保健医療サービスをめぐる財源構成	・社会保障全体および国民医療費は、どのような財源から構成されているかを概観する。	演習（一定の講義と授業外学習に基づく討議を行う）	財務省HP・厚生労働省HPから必要な資料を抽出し、国家予算に占める社会保障部門の位置づけ、ILO基準・OECD	加藤

		・医療保険（健保・国保・後期高齢者医療）および介護保険の財源がどのように構成されているかを検討する。		基準による社会保障財政の有り様を事前学習する。 旭川国保条例事件最判平18.3.1に基づき、最高裁が社会保険料と租税とをどのように区別しているかを理解する。	
10	2.保健医療サービスの当事者関係	・医療保険の主たる給付である療養の給付は、どのような当事者関係のもとで支給されるのかを考察する。	演習（一定の講義と授業外学習に基づく討議を行う）	有斐閣アルマに基づいて療養の給付の支給に関わる当事者関係を理解する。あわせて介護保険における当事者関係についても説明できるようにする。	加藤
11	3.保健医療サービスの負担と給付の関係1	・療養の給付と家族療養費（介護保険給付）に関する一部負担金・診療報酬の流れを検討する。	演習（一定の講義と授業外学習に基づく討議を行う）	第10回授業で考察した療養給付をめぐる当事者関係を前提に、療養の給付、家族療養費について、一部負担金や診療報酬（介護報酬）がどのような手続の中で保険医療機関（介護保険給付の場合は介護事業提供機関）に支払われるのかを検討する。	加藤
12	4.保健医療サービスの負担と給付の関係2	・生活保護・被保護者をめぐる介護保険1号被保険者と2号被保険者の違いに着目して、負担と給付の関係を考察する。	演習（一定の講義と授業外学習に基づく討議を行う）	介護保険法の1号被保険者・2号被保険者の規定から生活保護受給者がどのように位置づけられているかを理解する。あわせて、国民健康保険における被保険者資格付与の仕組みについても検討する。	加藤
13	5.医療介護従事者・医療介護施設をめぐる法規制	医療介護従事者・医療介護施設に関する法規制を概観し、できれば裁判例を取り上げて検討する	演習（一定の講義と授業外学習に基づく討議を行う）	保看助法・作業療法士法や介護福祉士法など、あるいは医療法や介護保険法などに目を通して、医療介護従事者や医療介護施設に関する法規制のあり方を概観する。あわせて、医療職・介護職関係の裁判例を調べる。	加藤
14	6.保健医療サービスにおける地域性の検討	医療介護総合確保法に基づく各都道府県の確保基金の状況および医療構想の進捗状況、あわせて各都道府県の地域特性についても検討する。	演習（一定の講義と授業外学習に基づく討議を行う）	医療介護総合確保法の制定経緯を調べ、その意義を検討すると共に、山形県の医療介護総合確保基金の取り組みを報告できるように準備する。	加藤
15	7.医療提供体制の概要と特徴	・日本の医療提供体制を医療保障という視点から考察し、OECD統計を補助線として、その特徴を検討する。	演習（一定の講義と授業外学習に基づく討議を行う）	島崎謙治『日本の医療 制度と政策 増補改訂版』やOECD経済審査報告書2017などを参考に、日本の医療パフォーマンスに関するプレゼンテーションの準備をする。	加藤

日付

【関田】

6.6.8（土）2-5

6.7.6（土）2-5

【加藤】

6.6.21（金）2-5

6.6.22（土）1-3

6.6.23（日）調整日

教科書	関田：関田康慶編著「医療安全モニタリングの新しい視覚化アプローチ～医療安全ピラミッドモデル・理論によるグラフ分析」、メディカ出版 2021年7月 加藤：「社会保障法（第8版）」（加藤智章・菊池馨実・倉田 聡・前田雅子）有斐閣アルマ 2023年3月 島崎謙治『日本の医療 制度と政策 増補改訂版』東京大学出版会 2020年
参考書	関田：山本玲子編「衛生・公衆衛生学」、アイ・ケイコーポレーション、2023年3月 加藤：「世界の病院・介護施設」（加藤智章編）法律文化社2020年

	「医療制度改革」(松本勝明編)旬報社2015年 「社会保険核論」旬報社、2016年
ディプロマ・ポリシーとの関連	博士前期1 / 博士前期2 / 博士前期3
実務経験のある教員	
実務経験をいかした教育内容	
教員の連絡先	関田康慶 : yasuyoshi.sekita.d2@tohoku.ac.jp 加藤智章 : truite0641y@yahoo.co.jp
備考	

授業科目	保健医療と教育論	科目英語表記	Health sciences and education		
職名、担当教員氏名	教 授 藤井 浩美 非常勤講師 佐竹 真次				
科目責任者氏名	藤井 浩美				
学内連絡教員氏名					
分野	看護学分野／理学療法学分野／作業療法学分野	学年	博士前期1年		
科目区分	共通	必修・選択の別	選択		
授業形態	講義／演習	開講時期	通年	単位数	4単位
授業概要	保健医療専門職養成の教育内容の最新知見を基に理解できるようにする。(この授業科目は、学校教育法に基づく大学院において教育学に関する科目に相当する。)				
到達目標	保健医療専門職教育を理解し、より高品質な教育内容を理解できる。				
成績評価方法	グループ討議度（ミニコメントシート）：25%（6回） 討議への参加度（討議内容のまとめ）：25%（6回） 最終時レポート：50% 保健医療専門職の教育開発が可能かを判定する。				
成績評価基準	特に優れている：根拠を踏まえて、保健医療専門職教育を理解し、より高品質な教育内容を理解し、具体的方法を理論的に説明できる。 優れている：根拠を踏まえて、保健医療専門職教育を理解し、より高品質な教育内容を理解し、具体的方法を説明できる。 良好である：根拠を踏まえて、保健医療専門職教育を理解し、より高品質な教育内容を理解し、具体的方法をある程度説明できる。 最低限の到達：根拠は乏しいが、保健医療専門職教育を理解し、より高品質な教育内容を理解し、具体的方法をある程度説明できる。 目標に達していない：保健医療専門職教育を理解し、より高品質な教育内容を理解し、具体的方法について、説明できない。				
授業形式	対面と遠隔授業				

授業計画					
回	授業項目	学習内容	学習方法	授業外学習	授業ごとの担当教員
1	保健医療専門職の教育	国際生活機能分類（ICF）を基本に教育のあり方を説明できる。	講義	保健医療と教育に関連する文献を抄読する。	藤井浩美
2	同上	同上	演習	同上	同上
3	同上	同上	講義	同上	同上
4	同上	同上	演習	同上	同上
5	教育の役割	保健医療専門職に至るまでの系統的教育の役割を学び討議で定着する。	講義	各々の立場で目的意識を養う。	佐竹真次
6	同上	同上	演習	同上	同上
7	同上	同上	講義	同上	同上
8	同上	同上	演習	同上	同上
9	青年心理と教育心理	青年と教育心理を理解し教育に反映できる。	講義	同上	同上
10	同上	同上	演習	同上	同上
11	同上	同上	講義	同上	同上
12	同上	同上	演習	同上	同上
13	教育方法と教育評価	各種方法を理解し、定着させる。	講義	同上	同上
14	同上	同上	演習	同上	同上
15	同上	同上	講義	同上	同上

16	同上	同上	演習	同上	同上
17	科目と授業設計	カリキュラム構成やシラバス作成ができる。	講義	複数の大学のカリキュラムやシラバスを比較検討する。	藤井浩美
18	同上	同上	演習	同上	同上
19	授業と成績評価	授業と成績評価の説明ができる。	講義	授業と成績評価に関する文献を抄読する。	同上
20	同上	同上	演習	同上	同上
21	保健医療専門職と社会保障制度	社会保障制度を教育側から説明できる。	講義	社会保障制度に関する文献を抄読する。	藤井浩美・スポット
22	同上	同上	演習	同上	同上
23	臨床実習のあり方	臨床実習教育を説明できる。	講義	臨床実習に関する各種文献を抄読する。	同上
24	同上	同上	演習	同上	同上
25	青年期の心理的特徴	日米比較をして説明できる。	講義	各種文献を抄読する。	同上
26	同上	同上	演習	同上	同上
27	教育研究法	日米比較して説明できる。	講義	同上	同上
28	同上	同上	演習	同上	同上
29	管理と運営	保健医療専門職養成に必要な管理と運営に関する説明ができる。	講義	同上	同上
30	同上	同上	演習	同上	同上
日付					

教科書	必要に応じて資料を配布する。
参考書	
ディプロマ・ポリシーとの関連	博士前期1 / 博士前期2 / 博士前期3
実務経験のある教員	
実務経験をいかした教育内容	
教員の連絡先	藤井 浩美：研究室27 hfujii@yachts.ac.jp
備考	この授業科目は、「理学療法士（作業療法士）に係る学校又は養成施設の指定基準第二条（第三条）法第十一条第一号の学校又は養成施設に係る令第九条第一項の主務省令で定める基準は、次のとおりとする。」にある「理学療法士（作業療法士）である専任教員は、～学校教育法に基づく大学院において教育学に関する科目を四単位以上修め、当該大学院の課程を修了したものである場合は、この限りでない。」に該当する。